

技術貸費学生とは

技術分野の プロフェッショナルをめざして

技術貸費学生は、陸上・海上・航空自衛隊の装備品をハイテク化、国産化する分野で活躍する有能な人材を養成するため、大学の理学部・工学部又は大学院修士課程の指定する学科を専攻する在学から選考により採用して学資金を貸与し、その修学を助成するものです。

卒業（修了）後は、陸上・海上・航空自衛隊の各幹部候補生学校において約1年間、幹部自衛官としての必要な教育訓練を受けるとともに、基本的な資質を養います。幹部候補生学校を卒業する際、本人の適性と希望を考慮して職種・職域が決定され技術系幹部として全国の部隊に配属されます。

将来的には、学生時代の専攻を考慮し、各自衛隊の装備品について研究開発する機関等で勤務する道も開かれており、技術分野で活躍するエキスパートとなる機会があります。



速水 義仁

平成 25 年度自衛隊貸費学生
陸上自衛隊 2 等陸尉
埼玉県出身
第12化学防護隊に勤務



※階級、所属は取材当時のものです。

新井 祐介

平成 26 年度自衛隊貸費学生
航空自衛隊 2 等空尉
第 7 航空団整備補給群修理隊に勤務



※階級、所属は取材当時のものです。

高い専門性のある職務の中で、
みなさんが学んだ知識と技術を活かすことができます。

東日本大震災が発災した2011年、私1人では何もできない中、自衛隊が懸命の作業をし、困難に立ち向かう様子を見て、私も自衛官になりたいと思いました。

貸費学生の制度を知ったのは、自衛官採用のパンフレットを探しているときでした。詳しく説明してもらったため自衛隊地方協力本部に足を運び、そこで多くのメリットを感じたため、貸費学生の受験を決めました。

私は大学、大学院で応用化学を専攻し、主に炭素材料を用いた研究をしており、貸費学生に採用されたからは、毎月の学資金のおかげで研究活動に専念することができました。また、採用が比較的早期に決まり、就職活動を早く終わらせられることも魅力的でした。

私は、群馬県に所在し、化学兵器・生物兵器・放射線等(CBRN)の脅威に対処する第12化学防護隊の偵察小隊長として勤務しています。CBRNに対する器材は高い専門性を要しますが、学生時代に培った知識・技術を活かすことができ、充実した勤務を送っています。

自衛隊には、皆さんの専門性を最大限に生かせる職域が必ずあります。ぜひ貸費学生を目指していただき、技術という側面から自衛隊を支えていきましょう。

みなさんが学んだ知識と技術を
自衛隊で存分に発揮することができます。

幼いころから飛行機が好きで、大学時代は航空工学の勉強をしていました。大学3年生の時に漠然と就職先を考えていた中、航空祭で知り合った自衛隊地方協力本部の広報官の方から、貸費学生の制度を教えてくださいました。

貸費学生は学資金を買いながら勉強ができ、自衛官となった後も大学で学んだ知識が活かせるという話を聞き受験することを決めました。早い段階から就職が決まり、研究に集中し、夏には1週間かけて全国の陸・海・空自衛隊の様々な装備品及び施設を研修できる機会もあり、充実した大学4年生を過ごすことができました。

貸費学生は幹部候補生学校を卒業後、まず技術幹部以外の特技を付与され、数年間現場を学ぶことになります。その後、技術幹部として現場で学んだ知識及び大学で学んできた知識を発揮していくことになります。

私は今茨城県にある第7航空団で修理隊のエンジン小隊長として勤務しています。第7航空団は首都圏唯一の戦闘航空団で、首都圏の防空任務に就いており、その重要な任務の一翼を担っているという強い自負心と責任感を持ちながら、エンジン小隊長を指揮しています。

これから私は技術幹部となって自衛隊を技術の面から支えていくこととなりますが、技術幹部は国内の最先端の技術に触れる機会が多々あり、また海外出張もあり、多くの国の人と接する機会もあると聞いているので、非常に楽しみです。みなさんが貸費学生となって、一緒に仕事ができる日がくることをお待ちしております。

自衛隊地方協力本部一覧

地方協力本部	郵便番号	所在地	電話番号	URL
札幌	060-0004	札幌市中央区北4条西15丁目1	011 (631) 5472	http://www.mod.go.jp/pco/sapporo/
函館	042-0934	函館市広野町6-25	0138 (53) 6241	http://www.mod.go.jp/pco/hakodate/
旭川	070-0902	旭川市春光町国有無番地	0166 (51) 6055	http://www.mod.go.jp/pco/asahikawa/
帯広	080-0024	帯広市西14条南14丁目4	0155 (23) 5882	http://www.mod.go.jp/pco/obihiro/
青森	030-0861	青森市長島1丁目3-5 青森第2合同庁舎2F	017 (776) 1594	http://www.mod.go.jp/pco/aomori/
岩手	020-0023	盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎2F	019 (623) 3236	http://www.mod.go.jp/pco/iwate/
宮城	983-0842	仙台市宮城野区五輪1丁目3-15 仙台第3合同庁舎1F	022 (295) 2612	http://www.mod.go.jp/pco/miyagi/
秋田	010-0951	秋田市山王4丁目3-34	018 (823) 5404	http://www.mod.go.jp/pco/akita/
山形	990-0041	山形市緑町1-5-48 山形地方合同庁舎1・2F	023 (622) 0712	http://www.mod.go.jp/pco/yamagata/
福島	960-8162	福島市南町86	024 (546) 1920	http://www.mod.go.jp/pco/fukushima/
茨城	310-0011	水戸市三の丸3丁目11-9	029 (231) 3315	http://www.mod.go.jp/pco/ibaraki/
栃木	320-0043	宇都宮市桜5丁目1-13 宇都宮地方合同庁舎2F	028 (634) 3385	http://www.mod.go.jp/pco/tochigi/
群馬	371-0805	前橋市南町3丁目64-12	027 (221) 4471	http://www.mod.go.jp/pco/gunma/
埼玉	330-0061	さいたま市浦和区常盤4丁目11-15 浦和地方合同庁舎3F	048 (831) 6043	http://www.mod.go.jp/pco/saitama/
千葉	263-0021	千葉市稲毛区轟町1丁目1-17	043 (251) 7151	http://www.mod.go.jp/pco/chiba/
東京	162-8850	新宿区市谷本村町10番1号	03 (3260) 0543	http://www.mod.go.jp/pco/tokyo/
神奈川	231-0023	横浜市中区山下町253-2	045 (662) 9429	http://www.mod.go.jp/pco/kanagawa/
新潟	950-8627	新潟市中央区美咲町1丁目1-1 新潟美咲合同庁舎1号館7F	025 (285) 0515	http://www.mod.go.jp/pco/niigata/
山梨	400-0031	甲府市丸の内1丁目1番18号 甲府合同庁舎2F	055 (253) 1591	http://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/
長野	380-0846	長野市旭町1108 長野第2合同庁舎1F	026 (233) 2108	http://www.mod.go.jp/pco/nagano/
静岡	420-0821	静岡市葵区袖366	054 (261) 3151	http://www.mod.go.jp/pco/sizuoka/
富山	930-0856	富山市牛島新町6-24	076 (441) 3271	http://www.mod.go.jp/pco/toyama/
石川	921-8506	金沢市新神田4丁目3-10 金沢新神田合同庁舎3F	076 (291) 6250	http://www.mod.go.jp/pco/ishikawa/
福井	910-0019	福井市春山1丁目1-54 福井春山合同庁舎10F	0776 (23) 1910	http://www.mod.go.jp/pco/fukui/
岐阜	502-0817	岐阜市長良福光2675-3	058 (232) 3127	http://www.mod.go.jp/pco/gifu/
愛知	454-0003	名古屋市中区川松重町3-41	052 (331) 6266	http://www.mod.go.jp/pco/aichi/
三重	514-0003	津市桜橋1丁目91	059 (225) 0531	http://www.mod.go.jp/pco/mie/
滋賀	520-0044	大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎5F	077 (524) 6446	http://www.mod.go.jp/pco/shiga/
京都	604-8482	京都市中京区西ノ京空殿町38 京都地方合同庁舎3F	075 (803) 0820	http://www.mod.go.jp/pco/kyoto/
大阪	540-0008	大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館3F	06 (6942) 0543	http://www.mod.go.jp/pco/osaka/
兵庫	651-0073	神戸市中央区臨海海岸通1-4-3 神戸防災合同庁舎4F	078 (261) 8600	http://www.mod.go.jp/pco/hyogo/
奈良	630-8301	奈良市高畑町552 奈良第2地方合同庁舎1F	0742 (23) 7001	http://www.mod.go.jp/pco/nara/
和歌山	640-8287	和歌山市菜港1丁目14-6	073 (422) 5116	http://www.mod.go.jp/pco/wakayama/
鳥取	680-0845	鳥取市富安2-89-4 鳥取第1地方合同庁舎6F	0857 (23) 2251	http://www.mod.go.jp/pco/tottori/
島根	690-0841	松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎4F	0852 (21) 0015	http://www.mod.go.jp/pco/shimane/
岡山	700-8517	岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎2F	086 (226) 0361	http://www.mod.go.jp/pco/okayama/
広島	730-0012	広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館6F	082 (221) 2957	http://www.mod.go.jp/pco/hiroshima/
山口	753-0092	山口市八幡馬場814	083 (922) 2325	http://www.mod.go.jp/pco/yamaguchi/
徳島	770-0941	徳島市万代町3-5 徳島第2地方合同庁舎5F	088 (623) 2220	http://www.mod.go.jp/pco/tokushima/
香川	760-0019	高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎南館2F	087 (823) 9206	http://www.mod.go.jp/pco/kagawa/
愛媛	790-0003	松山市三番町8丁目352-1	089 (941) 8381	http://www.mod.go.jp/pco/ehime/
高知	780-0061	高知市栄田町2-2-10高知よさこい咲都合同庁舎8F	088 (822) 6128	http://www.mod.go.jp/pco/kochi/
福岡	812-0878	福岡市博多区竹丘町1丁目12番	092 (584) 1881	http://www.mod.go.jp/pco/fukuoka/
佐賀	840-0047	佐賀市与賀町2-18	0952 (24) 2291	http://www.mod.go.jp/pco/saga/
長崎	850-0862	長崎市出島町2-25 防衛省合同庁舎2F	095 (826) 8844	http://www.mod.go.jp/pco/nagasaki/
大分	870-0016	大分市新川町2丁目1番36号 大分合同庁舎5F	097 (536) 6271	http://www.mod.go.jp/pco/oita/
熊本	860-0047	熊本市西区春日2丁目10-1 熊本地方合同庁舎B棟3F	096 (297) 2050	http://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/
宮崎	880-0901	宮崎市東大湊2丁目1-39	0985 (53) 2643	http://www.mod.go.jp/pco/miyazaki/
鹿児島	890-8541	鹿児島市東都元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎1F	099 (253) 8920	http://www.mod.go.jp/pco/kagoshima/
沖縄	900-0016	那覇市前島3丁目24-3-1	098 (866) 5457	http://www.mod.go.jp/pco/okinawa/

〈自衛官募集ホームページ〉
http://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/



〈募集コールセンター〉
守ろうみんなの国 ☎ 0120-063792
(年中無休受付時間12:00~20:00)

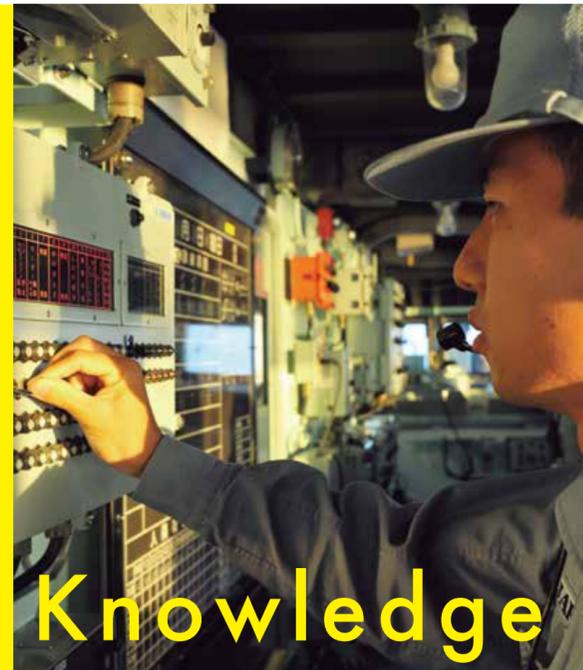
●お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ



平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

2018年度(2019年度採用) 自衛隊貸費学生募集案内

知識と技術で拓く



Knowledge

Technology

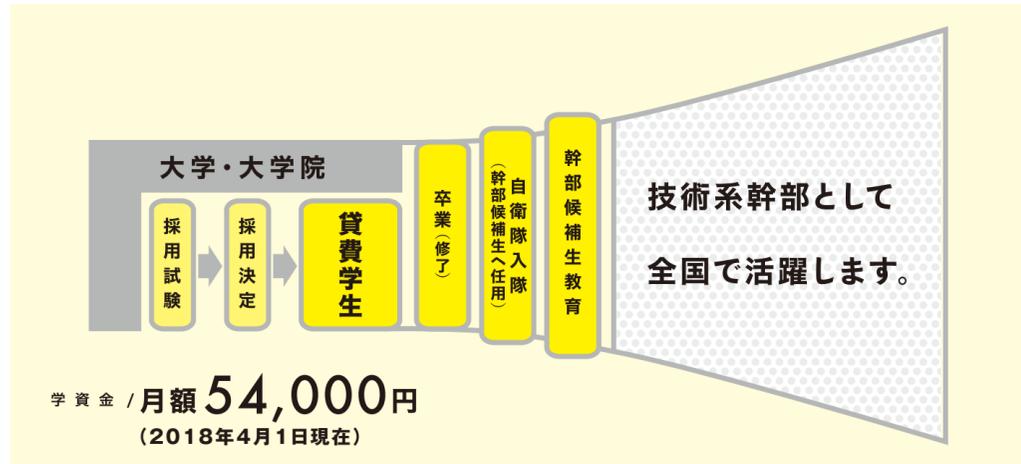


スペシャリストへの道。

自衛隊貸費学生制度とは

制度の概要

現在、大学および大学院で、医学、歯学、理学及び工学を専攻している学生で、卒業（修了）後、その専攻した学術を活かして引き続き自衛隊に勤務する意志を持つ者に対し防衛省より学資金が貸与されます。



※医学及び歯学を対象とする衛生貸費学生は今年度の募集はありません。

応募資格（技術貸費学生）

大学の理学部・工学部（注）の3年次、4年次又は大学院（専門職大学院を除く。）修士課程に在学し、下記の学科を専攻している方が対象となります。

専攻学科（注）

電気工学・通信工学・電子工学・機械工学・数理工学・航空工学・金属工学・応用物理学・化学・応用化学・数学・物理学・繊維工学・農芸化学・土木工学・建築学・精密工学・制御工学・情報工学
船舶工学・海洋工学（海上自衛隊要員のみ）

注：学部については、理学部、工学部に類する学部も応募資格に該当する場合があります。また、専攻学科については名称のいかんを問わず上記学科に相当するものを含まれます。詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。

研修

技術貸費学生を対象として、大学の夏休み期間を利用した約1週間程度の夏期研修を行っています。夏期研修は、自衛隊の研究開発機関や部隊等で装備品に直接触れたりして、見聞を広めてもらうもので、本研修にかかる経費は防衛省が負担します。

採用

卒業（修了）後、貸費学生は陸上・海上・航空自衛隊の一般幹部候補生として採用されます。採用区分（陸上・海上・航空自衛隊）については、希望等を考慮の上決定し、採用通知に記載します。なお、第1希望以外の区分で採用される場合もあります。

※学資金の返還免除：貸与された学資金は、自衛官として一定年限以上勤務すると規定に従って返還が免除されます。

夏期研修とは

夏期研修により将来の幹部自衛官としての認識を深めるとともに、あわせて自衛隊に対する技術的知識を習得します。また、陸上・海上・航空自衛隊の技術貸費学生が一堂に会し、行動を共にし、各自自衛隊の部隊を研修することにより、統合的な視点をもって将来勤務するための素地を養います。

実施期間 2018年7月17日（火）～7月25日（水） ※2018年度実績

月 日	時間	行 動 予 定	
		研 修 場 所	研 修 項 目
7.17 火	午前	市ヶ谷～目黒	研修概要説明等・防衛装備庁研修（概要説明）・移動（車両）
	午後	目黒～富士	防衛装備庁研修（艦艇装備研究所）・移動（車両）
7.18 水	午前	富士	陸上自衛隊部隊研修（開発実験団）
	午後	富士～厚木	移動（車両）・海上自衛隊部隊研修（第51航空機）
7.19 木	午前	厚木～岐阜	移動（車両）
	午後	岐阜	航空自衛隊部隊研修（飛行開発実験団）・移動（官用機）
7.20 金	午前	岐阜～千歳	航空自衛隊部隊研修（第4高射群）・企業研修（三菱重工）・移動（官用機）
	午後	千歳～東千歳	移動（車両）
7.21 土	午前	東千歳～余市	移動（鉄道）・海上自衛隊部隊研修
	午後	余市～東千歳	海上自衛隊部隊研修・移動（鉄道）
7.22 日	午前	東千歳～千歳	移動（車両）・航空祭参加等
	午後	千歳～東千歳	航空祭参加等・移動（車両）
7.23 月	午前	東千歳	体験搭乗（UH-1J）
	午後	東千歳～千歳	移動（車両）・航空自衛隊部隊研修
7.24 火	午前	千歳	航空自衛隊部隊研修（広報館）
	午後	千歳～羽田～横須賀	移動（民間航空機）・移動（車両）・海上自衛隊部隊研修
7.25 水	午前	横須賀	海上自衛隊部隊研修
	午後	横須賀～市ヶ谷	移動（車両）

研修参加者 陸上・海上・航空自衛隊の技術貸費学生

研修内容等 防衛省における装備品等の研究開発の概要
陸上・海上・航空自衛隊の部隊研修・主要装備品研修
（戦車・装甲戦闘車、護衛艦・固定翼哨戒機、戦闘機・地对空誘導弾等）
隊内における集団生活の体験



艦艇見学



航空機見学



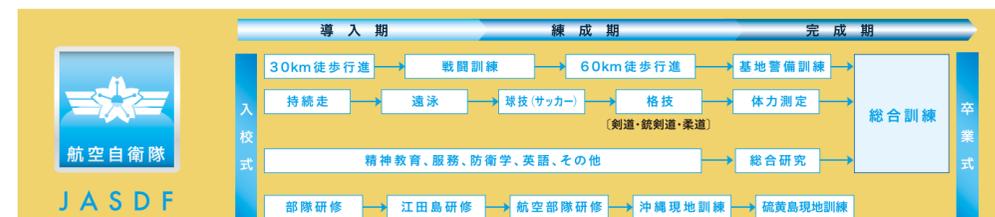
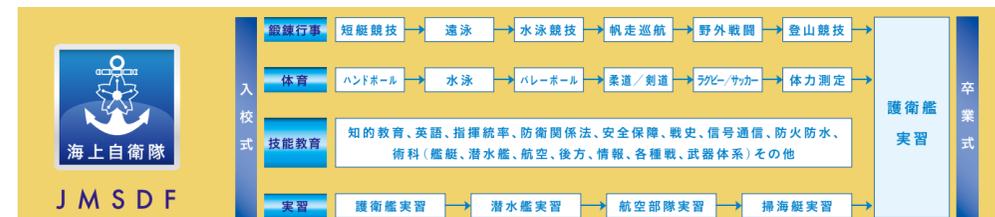
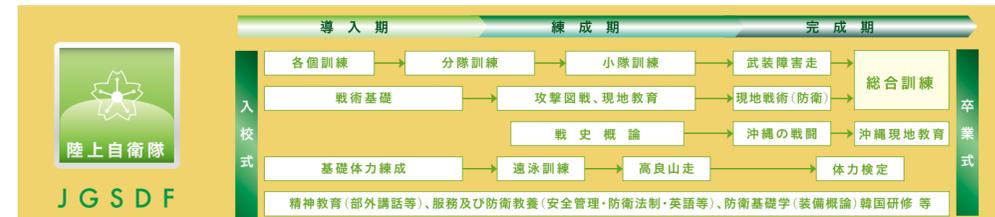
戦車試乗

幹部候補生および幹部の教育について

幹部候補生の教育

幹部自衛官の養成機関である「陸上・海上・航空自衛隊の各幹部候補生学校」での生活から、幹部候補生の教育が始まります。ここでは、初級幹部としての必要な知識と技能を学びながら、幹部としての資質を養っていきます。防衛基礎学、戦術、戦史、戦技訓練、体育、服務、防衛教養、実技などの課目があり、陸上・海上・航空の特色を生かした教育が行われています。全員が校内にて寄宿し規則正しい学生生活を送ります。卒業後一人前の幹部として活躍できるように、集団生活を通じて幹部としての教養を培い、スポーツによって強靱な身体を鍛錬します。

■教育カリキュラム（一般幹部候補生としての重要な教育訓練及びその順次）



幹部の教育

幹部自衛官としての昇任後は、部隊で勤務しながら、幹部初級課程や幹部上級課程などの各職種・職域の基礎教育を受けます。また、防衛大学校理工学研究所・国内外大学研修（修士課程、博士課程）、海外軍学校研修、会社研修などの機会もあります。その後、さらに上級幹部となるために、幹部学校において技術高級課程や指揮幕僚課程、幹部高級課程などの教育もあります。このように、幹部自衛官は階級に応じて自衛隊の各教育機関で実施する教育を受け、幹部としての高度な知識・技能の向上に努めていきます。また、こうした一貫した教育システムが、有能な幹部自衛官養成につながっています。



海上自衛隊幹部候補生学校

〒737-2195
広島県江田島市江田島町国有無番地
TEL.0823-42-1211



- 周辺の環境 瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な小島、江田島にあります。
- 教育内容（一般幹部候補生） 訓練、戦史、国際法、体育、兵術、術科、実習、その他
- 行事・訓練 日米候補生交換行事、航空実習、護衛艦実習、通泳、弥山登山競技など。

陸上自衛隊幹部候補生学校

〒839-0852
福岡県久留米市高良内町 2728
TEL.0942-43-5215



- 周辺の環境 筑紫平野に抱かれた緑豊かな地、久留米が教育の舞台です。
- 教育内容（一般幹部候補生） 防衛学、教養、体育、普通学、服務、実習、その他
- 行事・訓練 沖繩研修、筑紫島研修、航空部隊研修、水泳訓練、射撃訓練、総合訓練など
- 周辺の環境 気楽平野に抱かれた緑豊かな地、久留米が教育の舞台です。
- 教育内容（一般幹部候補生） 戦術・戦技訓練、戦術・戦史、防衛基礎学、体育、服務・防衛教養、精神教育、統合教育、その他
- 行事・訓練 射撃、野営訓練、高良山登山走、武装障害走、総合訓練など

航空自衛隊幹部候補生学校

〒630-8001
奈良県奈良市法華寺町 1578
TEL.0742-33-3951

